

# 匠くん新聞

## 住宅展示場オープン



### 匠くん新聞創刊

当社の各種イベント情報や新着情報をOBのお客様や普段お世話になっておりますお客様に定期的にお知らせして頂きたいと思っております。「匠くん」は当社のイメージキャラクターです。当社のパッケージや建築資材に



使っているのです、結構お馴染みではないかと思えます。この「匠くん」は当社の会長、田中信一が、サル年生まれにちなんで、漫画家の「田中しよま」(現在、信濃毎日新聞の四コマ漫画「あなずちゃん」掲載中)さんをお願いして作って頂いたものです。田中住建サールが疑問だったお客様もいらっしやうかと思えますが、実は、このような裏話があったので

創刊第001号  
平成24年2月1日発行  
株式会社田中住建  
長野県佐久市佐久平駅東15-6  
TEL0267-67-4736  
FAX0267-67-1588  
ホームページhttp://www.tanaka-jyukuken.co.jp/

平成二十三年十一月二十六日、同年五月より着手してまいりました当社の住宅展示場がついにオープン致しました。この住宅展示場は、「信州産・木の家住宅展示場」と命名し、当社本部署務所の隣接(地図参照)に建設されました。オープンイベントとして、昨年の十二月二十六日・二十七日及び本年一月七日・八日・九日と二回にわたり、見学会を開催致しました。

### 県のモデル事業に採用

木の家住宅展示場は、長野県林務部が平成二十二年度に公募した「県産材を利用したモデル住宅の補助対象事業」に応募し、県下22社の応募者の中から採用(採用は22社の内、当社を含む3社)された展示場です。この補助対象事業は、地域住民に対し県産材製品のPR効果が高く、長野県が策定した、「ふるさと信州・環の住まい基本方針」に基づく環境性能に優れた県産材利用のモデル住宅建設に対し、その建設経費を補助するというものです。ですから、当社の展示場は県産材の良さをアピールするのに当社のお客様のみでなく、同業者を始め、広く様々な方々にご覧頂きたいと思えます。

### 展示場概要

- 所在地 長野県佐久市長土呂字上高山851-1
- 構造 木造ルーフィング葺き2階建て
- 床面積 1階 66.24㎡  
2階 54.09㎡ 合計120.33㎡ (36.39坪)
- 敷地面積 248㎡ (75.02坪)
- 竣工 平成23年10月末日 (着工 平成23年5月末日)
- 見学 見学随時 午前10時~午後5時  
(事前にご連絡頂ければ時間外でも結構です)
- 定休日 水曜定休



### 見どころ満載

今回の展示場は命名の通り、県産材をふんだんに使用し、木の香りと優しいぬくもりに包まれた見どころ満載の展示場となりました。その一例と致しましては、●スギとカラマツ材による味わい深い木目を活かした板壁による外観。●水に強いサワラ材とヘアラインステンレスによる自社製作のオリジナル

### 包丁研ぎサービス開催

イベントでは、「大工さんによる包丁研ぎサービス」と銘打ち、ご来場のお客様へサービスの一環として包丁研ぎを企画致しました。「大工さん」と言っても、実際は田中会長がイベント期間中、全ての包丁を研ぎ上げました。(全イベントでのトータルは何と263丁にもなりました)OBのお

### 大盛況のオープンイベント

昨年11月26・27日と本年1月7日・9日の2度に渡り、オープンイベントを開催致しました。当日は真冬の寒い日にも拘わらず、大勢のお客様にご来場頂きました。ちなみに11月の第1回目は56組、今年の第2回目は66組ものお客様にご来場頂きました。本場にありがとうございました。やはり、「県産材」とか、「木の家」に対し皆さん、関心をお持ちなんだと実感致しました。

ルキッチン。●薪ストーブと吹き抜け天井による明るく、暖かいリビング。●木曽ヒノキとサワラによるすべすべした木肌の「木の香り風呂」。●畳の間とサクラの皮付丸太による船底天井、ぐっすり休める癒しの主寝室。等々となっております。まだ、ご来場頂いていないお客様は是非一度ご来場頂きたいと思えます。

お客様からも大好評でした。この包丁研ぎにつきましては、今後当社の各種イベント等で定番に行きたいと思えますので、次の機会には是非ご参加頂きたいと思えます。



### 編集長のつぶやき

新年早々から、この新聞の編集長になる様指名され、新聞製作など今まで到底縁もなく経験もなく、元々機転など利かない硬い頭のこの私が何で「編集長」なのか。正月明けから悩みに悩みながら編集方法を考えました。今回何となく、創刊号の発行に至りそうですが、次回から「編集長のつぶやき」が「ばやき」になり、「なげき」にならないことを祈ります。この創刊号を最後まで読んで頂きありがとうございます。この新聞を通じて、もっと当社が身近になり、もっと当社のご事を理解頂ける様、頑張っていく所存です。何分にも新聞製作など未経験です。ので、見ずらい所、判りづらい所等々あると思えますが、徐々に進化して行きたいと考えております。また、出来たら感想やご意見を頂ければ励みになりますのでよろしくお願致します。(小林健一)